

第3章 評価の結果に対する対応方針

分科会の評価結果を受けて、国土技術政策総合研究所では以下のように対応する。

■令和5年度 第4回 国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第二部会）

- ・非住宅建築物の防火性能の高度化に資する新しい性能指標および評価プログラムの開発（終了時評価）

評価結果を踏まえ、専門家ではない建築主に対して、より分かりやすさや使いやすさに配慮した資料を提示できるよう、検討を進めて参りたい。また、機能維持性能の評価においても、用途による差異をより適切に反映できるよう、検討を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

- ・空き家の管理不全化に対する予防的対策効果の定量化に関する研究（終了時評価）

評価結果を踏まえ、予防的対策効果の発信や、より効果的な伝え方について検討を進めて参りたい。

また、管理不全化の予防に加え、現存する所有者不在や高齢所有者の空き家への対応の検討も視野に、空き家対策に資する研究を進めるとともに、その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

- ・災害後における居住継続のための自立型エネルギーシステムの設計目標に関する研究（終了時評価）

評価結果を踏まえ、住宅の性能や種別・規模、災害時の利用想定等のケースを拡充して検討を進めて、居住継続に向けた電力需要と自立型エネルギーシステムにより供給可能な電力量を、導入にあたってのコストや留意点等とあわせて整理し、自立型エネルギーシステム導入に資する知見を提供できるよう研究を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

- ・スマートシティ推進支援のための主要な都市問題解決に係る計画評価技術の開発（終了時評価）

評価結果を踏まえ、今後も技術革新のスピードやプロジェクトの増加を鑑み、「スマートシティ事例集」等の情報の更新・充実を図りながら、研究成果の普及に努めて参りたい。その際、デジタル弱者への配慮等についても十分考慮して参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

■令和5年度 第5回 国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第一部会）

・ダムで計測された地震動データを活用した被災状況推定システムの開発（終了時評価）

評価結果を踏まえ、A I の判定については、引き続き地震動データ、ダム管理における計測データおよび地震時の被害の情報の収集を行い、学習用データを蓄積することにより、異常検知の精度の向上に関する検討を進めて参りたい。また、地震動と被害発生との関係性についても整理をすすめ、異状検知の判定基準の検討を継続的に進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・人工衛星データの統合活用による植生による土砂災害防止評価に関する研究（終了時評価）

評価結果を踏まえ、地温等の現地実測データによる LST 残差の有効性検証と並行して、LST 残差から豪雨後の警戒避難体制の解除を判断する材料として提供するまでの手順を早期に確立することを目指して研究を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・がけ崩れ災害緊急対応のための意思決定支援システムの開発（終了時評価）

評価結果を踏まえ、引き続き人材育成に努めることを前提として、斜面崩壊調査の標準化やデジタル化による警戒避難対策や復旧計画検討への流用等の各災害対応プロセスへの利用拡大を視野に研究を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

■令和5年度 第6回 国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第三部会）

・自動運転空港除雪車両の導入に関する研究（終了時評価）

評価結果を踏まえ、今後も航空局と連携し、運転支援ガイダンスシステムの導入など空港除雪の省力化・自動化に向けた取組を研究の側面から推進して参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

■令和5年度 第7回 国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第一部会）

・ 3次元データに対応したWEB会議システムの開発（終了時評価）

評価結果を踏まえ、点群データ及び利用可能な3Dデータの種類を増やすことで施工現場や災害現場における3次元データを利用可能にして参りたい。

また、今後当該システムについての利用者の意見を集約した上で継続的な機能改善を図ると共に、当該システムを利用した会議マニュアル等の作成を検討して参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・ 高頻度流域精密測量による短期・中期土砂流出対策手法高度化のための研究（終了時評価）

評価結果を踏まえ、観測の標準化については、作成している必須の事項を中心にとりまとめた調査手引きの中に、本研究から得られた高頻度を実施することのメリットや頻度及び計測範囲、精度に関する留意点についても盛り込んで参りたい。また、対策計画の立案のための数値解析技術の高度化については、今回の観測データに加え、全国の事務所の同様の観測データを収集することで河床変動再現計算の検証事例を充実させて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・ 緊急仮設橋の性能規定と部材等規格化に向けた調査研究（終了時評価）

評価結果を踏まえ、すでに検討が始まっている道路橋の修繕の技術基準の整備にあわせて、被災した下部構造の照査を行うための既設橋の性能評価のための基準類の整備に向けて検討を続けて参りたい。

また、規格化に向けた技術開発を促していくにあたっては、海外展開も視野に入れてもらうよう民間団体に働きかけて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・ 現場の環境変化を考慮した土木施工の安全対策の高度化に関する研究（終了時評価）

評価結果を踏まえ、本研究の成果が反映されたリスクアセスメント手法に関し、その公表や関係研究機関等への共有を通じて実施工現場での意見も踏まえつつ、その活用促進に取り組み、施工現場の安全対策への効果検証の方法について、今後も研究を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。